

## 茨城県立鹿島高等学校

### 創立百十周年記念式典学校長式辞

本日、茨城県立鹿島高等学校の創立110周年記念式典を  
挙行するにあたり、鹿嶋市より市長 錦織 孝一 様、  
神栖市より市教育委員会教育部長 野口 修一 様、  
潮来市より市教育委員会教育長 横田 直樹 様、ま  
た茨城県教育委員会より 県教育庁学校教育部長 森  
作 宜民 様、そして本校後援会会長であります茨城  
県議会議員 田口 伸一様をはじめ、歴代校長先生、  
同窓会、後援会、PTA等本校関係者の皆様にはご多  
用のところご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます  
입니다。厚く御礼申し上げます。

この度、本校はめでたく創立110周年を迎えることがで  
きました。これもひとえに、卒業生や旧職員等先人の  
並々ならぬご尽力、そして本日ご臨席を賜りました皆  
様方のご支援とご指導の賜と深く感謝しております。

本校は、明治43年に組合立農学校として創立されて以  
来、明治、大正、昭和、平成、そして令和という五つ  
の時代の中で、様々な試練や苦難を乗り越えながら歴  
史を刻み、地域の中心となる伝統校として素晴らしい  
実績を積み重ねてきました。卒業生は2万2千人を超  
え、同窓会会員は各地、各界においてご活躍されてい  
ます。

今回、創立110周年記念事業として、同窓生の皆様から  
のご寄付等により、人工芝多目的グラウンドが整備さ  
れました。授業、学校行事、部活動等で大いに活用さ

せていただいております。この度の実行委員会会長であり、本校同窓会会長の 秋山 武清 様をはじめ、今回の記念事業に係わられた皆様お一人お一人に心から感謝の意を表したいと存じます。

さて、現在の校訓「自治・勤勉・快活」は、第二次大戦後、新制高校としてスタートするにあたり制定され、今日に至るまで一貫して掲げられ、現在でも生徒の指針として存在しています。そして本校では、平成31年度には学科改編が、令和2年度には附属中学校の開校があり、学校として新たな挑戦が始まったところでもあります。

生徒の皆さん、皆さんには、先輩方が積み上げてこられた立派な成果と伝統を守り、そして激しく変動する社会で逞しく生きていくこと、まさに本校の校訓「自治・勤勉・快活」を心にして成長していくことを期待したいと思います。

創立以来、物心両面にわたって本校を支えていただきました地元鹿嶋市、神栖市、潮来市、並びに同窓会、後援会、PTA、県教育委員会等関係機関、そして歴代校長先生並びに教職員の皆様にご心より御礼を申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。式辞といたします。

令和2年11月20日

茨城県立鹿島高等学校長 小沼 浩幸